

2022年3月25日

報道機関 各位

RECNA ポリシーペーパーNo. 15 『これからの軍縮教育：日韓の視点から』 発刊について（記者会見）

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA）は、時宜に合ったテーマで、専門家によるポリシーペーパー（論考集）を発表してまいりました。

このたび、東アジア市民社会の連帯強化に向けて積極的な発信を続けている韓信大学（韓国）平和と公共性センターの李起豪（イ・キホ）教授の協力を得て、ポリシーペーパー「これからの軍縮教育：日韓の視点から」を刊行いたしました。

核軍縮機運の後退や核使用リスクの増大といった昨今の核をめぐる逆風の強まりで、軍縮教育の必要性が一段と高まっています。核兵器禁止条約が軍縮・不拡散教育の重要性を前文に明記したことはその一つのあらわれと言えるでしょう。しかし日韓両国においては、原爆投下をめぐる歴史認識の相違や核抑止依存の安全保障政策など複雑な要素が絡みあい、核の非人道性を根幹に据えた軍縮教育が浸透しづらい現状があります。ロシアのウクライナ侵攻を受け、国内外で軍事力増強を肯定する主張が力を増しつつある中、日韓における軍縮教育の普及・強化をいかに進めていくかが改めて問われています。

こうした認識のもとでまとめた論考につきまして、以下の通り、対面及びオンラインにてブリーフィングを行います。オンライン参加をご希望の方は、Zoom リンクをお送りいたしますので下記問い合わせ先までメールにてお申込みください（申込期限：3月29日（火）朝9時）。

なお、ポリシーペーパーは長文になっています。事前にお読みになりたい方は、こちらにご連絡いただければメールにてお送りいたします。ただし、ポリシーペーパーは記者会見終了予定時間（29日14時半）を解禁時間とさせていただきますので、何卒ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

■日時：2022年3月29日（火）13：30～14：30

■開催方法：長崎大学 RECNA1 階会議室 及び Zoom によるオンライン配信

■報告者：李 起豪 韓信大学平和と公共性センター長・教授（オンライン）
吉田 文彦 核兵器廃絶研究センター センター長・教授
中村 桂子 核兵器廃絶研究センター 准教授

【本リリースに関するお問い合わせ先】

核兵器廃絶研究センター総務係 TEL 095-819-2164/ FAX 095-819-2165

E-mail recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp